

令和7年 第4回（6月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	丸 山 真 智 子	3 0 分	1. 安全で安心に暮らせるまち(総合計画 基本目標④)について	(1) 消費者トラブル防止、防犯環境の整備について問う	①交流サイトSNS悪用詐欺、ニセ電話詐欺、ロマンス詐欺等の被害が多発している。公表されたニセ電話詐欺だけでも福岡県内で2024年23.3億円、2025年に入り1月から3月末迄すでに12億円の被害が出ている。住民を守る最前線は自治体、被害実態と取組みは ②まずは相談、くい止めることが大事。「かすや中南部広域消費生活センター」TEL092-936-1594の周知は。出前講座についても令和6年度の140人くらいでは少なすぎるのでは また、有資格者である消費生活相談員の安定的確保は大丈夫か 被害が生じた場合の警察との連携は ③特殊詐欺被害防止機能付き電話機の購入費補助などの検討は ④横行する闇バイト。若者が騙され加害者になることも起きている。中学生が受け子になった事例もあり、低年齢化も問題。学校ではどういった防止教育がされているのか ⑤闇バイトによる強盗事件も起きている。防犯指導員による町内巡回での抑止効果は 高齢者などの住宅に防犯対策を施す費用(センサー付きライト等)を補助する自治体もあるが取り組んだらどうか ⑥防犯カメラの設置について。防犯カメラ付き自動販売機の活用は 自治会(町内会)が設置する防犯カメラへの補助も求められているが実施は ⑦防犯灯について。共架新設・取替に5万円くらいかかっている。補助金額(11,500円以内)が低く自治会(町内会)の負担が大きい。増額はされるのか	町 長 教 育 長
			2. 子どもの目の健康(視力の低下)について	(1)「人を元気に」携帯電話やタブレット端末、テレビゲームなどの使用が誘因となり、子どもの視力の低下が心配される。予防、進行防止への取組みを伺う	① 文科省の令和6年度調査で、近視の児童・生徒の割合が増え、過去最多となった。志免町での裸眼視力1.0未満と判定された児童・生徒の割合の推移を伺う。また、スマホなどの画面を見続けることで手元の文字が見えづらくなるスマホ老眼の実態は ② 予防、進行防止への取組みはされているのか できるだけ外で遊ぼう(外で遊ぶと近視になりにくいといわれている)といった啓発は各学校行っているのか。保護者との連携は。 目の健康体操を制作し、小・中学校や高齢者施設で利用している自治体もある。 提案したい	町 長 教 育 長

2	稲 永 義 美	3 0 分	1.「第6次志免町総合計画 みんなで未来をつくるまち」の中から「基本目標③健やかでやさしく支え合うまち：健康・福祉」について	(1) 高齢者福祉の充実を掲げているが、現状と今後について伺う (2) 高齢者支援策としての「ふるさと納税」の活用について伺う (3) 高齢者の社会参加促進と社会とのつながりの維持・強化について	① 高齢者を地域で見守り、支援するとあるが、町の具体的な施策は何か ② 高齢者の社会参加と生きがいを支援するとあるが、町の具体的な施策は何か ③ 高齢者の健康作りとフレイル対策の観点から、町の具体的な施策は何か ④ 今後、何か施策の予定はあるのか ① ふるさと納税に「高齢者へのおもいやり」と言う項目を設け高齢者・高齢者団体の支援に使ってみてはどうか ① 高齢者や高齢者団体が使用する施設料金の免除を行えないか。 ふるさと納税を活用し「町民広場や東公園グランド等の町内グランドや町内施設等」の利用料の免除実施へ	町 長
			2. のるーと志免について	(1)「のるーと志免」のバス停やバス本体のネーミングライツ活用について伺う	① バス停とバス本体のネーミングライツの要綱作成の進捗状況は ② バス停とバス車体のネーミングライツ料の一部を活用し高齢者の乗車料金支援（一部補助や免除）をおこなってはどうか	
			3. 誰もが、利用しやすい公園作りについて	(1) 公園の利用制限を明確にすべきでは	①「公園・広場マップ」を作成し、町内の公園43ヶ所、広場・グランド31ヶ所の利用制限を明確に分り易く開示して利便性の向上を図るべきではないか	
3	牟 田 口 武 史	2 0 分	1. ボタ山の利活用について	(1) ボタ山の利活用について令和6年3月議会以降の経過を問う	① 粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会の構成委員について ② 同委員会の昨年度開催回数について ③ 同委員会の協議事項内容について ④ ボタ山開発において国土交通省九州地方整備局との関係について ⑤ 志免町へ企業からの提案等は ⑥ 国鉄志免炭鉱ぼた山開発推進協議会について ⑦ 町長はボタ山をどうしたいと考えているのか	町 長
4	稲 永 隆 義	3 0 分	1. 教育委員会の透明性について	(1) 教育委員会の透明性を向上させるべき。透明性が低いと住民の信頼を失い教育の質の低下が心配される	教育長再任おめでとうございます。志免町の教育行政のトップとしてリーダーシップを発揮され、「教育の町志免」の実現を期待しながら本日は苦言を交え質問致します ① 教育委員会の透明性について、現状をどう把握しているか伺う ② 総合教育会議及び教育委員会の開催頻度と主な議題は ③ 総合教育会議及び教育委員会は傍聴可能か ④ 総合教育会議及び教育委員会の開催の告知(日時や議題等)はしているか ⑤ 総合教育会議及び教育委員会の議事録の公表はしていないと思うが、その理由は ⑥ 教育委員会つまり教育行政の意思決定や運営のプロセスを住民にもう少し発信すべきと思うが、その方策を伺う ⑦ 先日の議員と語る会で、「志免町の小中学	町 長 教 育 長

			2. 高齢者支援について	(1) この物価高と年金の上昇が伴わない中で、高齢者は我慢しておられる。町として少しでも支援の手を	生の学力は低いとやろう」と聞かれ、「そんなことはない、ここ 2.3 年は全国平均を上回っている」と返答しましたが、正式な見解を伺う 一昨年の 65 歳以上の高齢者に配布したお米券の規模でも良いと思う ① 一昨年のお米券配布実績は ② 令和 7 年度物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金及びふるさと納税の活用は考えられないか	町 長
4	稲 永 隆 義	3 0 分	3. 坂瀬共同利用施設の位置付けについて	(1) 位置付けが曖昧。このままで良いのか	坂瀬共同利用施設は今年度からの改正志免町公共施設個別施設計画から外れている ① 坂瀬共同利用施設は志免町の公共施設ではなくなった？どのように位置づけられているのか ② 耐震化はされているか ③ 平成 28 年 7 月の志免町公共施設白書によると、坂瀬共同利用施設は昭和 53 年建設のコンクリート造となっている。同年建設のコンクリート造の鏡共同利用施設は令和 13 年度に改修予定である。坂瀬共同利用施設改修の予定は	町 長
5	安 河 内 祐 子	3 0 分	1. 第 6 次志免町総合計画基本目標 4 安全で安心して暮らせるまち【防犯・防災】の取組みを問う	(1) 防犯体制の現状と取組みを問う (2) 防災体制の現状と取組みを問う (3) 減災対策と災害に強い基盤づくり	① 昨年度から志免町内で発生した、事件件数は何件か(重大事件があれば具体的に) ・子どもや高齢者が被害に遭遇した案件はないか ② 町内の防犯灯の整備状況は ③ 防犯カメラの整備状況は ④ 学校教育面での防犯対策は (児童、生徒に対して行っている教育と対策) ・校内不審者侵入時・登下校時の不審者出没時・自転車運転に対して (学校として、また教職員の教育や対策) ・校内不審者侵入への対策 ・登下校時の安全指導 ⑤ 地域ぐるみの防犯活動や防犯環境整備対策は ① 災害・防災情報の提供と、その情報の町内共有の環境整備は (地域、企業、との連携体制) ② 警察との連携体制は ③ 町民の減災対策の強化→防災行政無線、緊急速報メール、防災メールの活用の周知徹底と発信管理 ④ 自主防災組織は→町内会の取組みと、個人個人の取組みの強化(共助への意識や、避難用品や食料品備蓄に対する意識づけ) ① 町内の危険箇所＝土砂災害警戒区域の現状と整備状況、及び課題は ② 町内の雨水排水路の維持管理状況、浸水想定区域の現状と志免町道路冠水対策	町 長 教 育 長

7	藤瀬 康 司	2 0 分			化 ④ 児童・生徒への指導について i. 熱中症のサインを教える ii. 自分や友達の異変に気づいたときの行動を教育 ⑤ 緊急対応体制について i. 保健室の対応力強化 ii. 緊急時の連絡体制整備 ⑥ 町との連携について i. 熱中症警戒アラートと学校活動の連動ルール整備 ⑦ 小中学校の給水設備について i. 小中学校における給水設備の設置状況は ii. 小中学校への給水スポットの設置、検討は iii. 国や県の補助金を活用しては iv. 地域住民も活用できる給水インフラとして学校施設を位置づけては	
8	野 中 秀 樹	1 5 分	1. 志免町プレミアム付電子商品券「しめ Pay」について 2. 町内の交通渋滞について(特に県道 68 号線)	(1) 志免町の補助事業として実施しているプレミアム付電子商品券「しめ Pay」は、発行団体である志免町商工会を通じて運用されており、年々利用者が増加している。町内の消費促進や地域経済の活性化に大きく寄与している本制度について、今後の継続方針や制度のさらなる拡充可能性について、町の考えを伺う (1) 県道 68 号線、特に下志免バス停付近や大的交差点周辺では、朝夕の通勤・通学時間帯における激しい渋滞が常態化しており、地域住民の生活や移動に大きな支障をきたしている。バスの停車による交通停滞は深刻であり、バス停の移設や道路整備など、渋滞緩和に向けた対策の検討状況と、今後の対応方針について町の考えを伺う	① しめ Pay」の今後の継続実施に対する町の方針は ② 発行額の増額やプレミアム率の見直し、予算措置の拡充について、現在の検討状況は ③ 「しめ Pay」以外にも、地域経済の活性化に向けた新たな施策やデジタル技術の活用について必要と考えるが、町の考えは ① 県道 68 号線における朝夕の渋滞について、町としてどのような現状認識を持っているのか ② 特に大的交差点周辺の渋滞について、バス停の移設を含む具体的な対策の検討がなされた経緯はあるのか ③ 福岡県や警察、交通事業者など関係機関との協議状況、また今後の改善に向けた計画の有無は ④ 町として、渋滞緩和に積極的に取り組む姿勢と、そのための方策は	町 長 町 長